

令和7年度厚生労働科学研究等のスケジュール

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
企画課 自立支援振興室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

令和7年度実施予定の厚生労働科学研究と障害者総合福祉推進事業

研究テーマ

研究目標等

1

【厚生労働科学研究(指定)】
技術革新を視野に入れた補装具費支給制度の
あり方のための研究
(3年計画の3年目)

研究代表者 浅見 豊子
国立大学法人佐賀大学医学部 臨床教授

- 運動器系補装具
 - ・ 基本工作法・購入基準・修理基準の適正化のための実態調査等
 - ・ 3D技術導入に向けた身体データ等デジタルデータの取扱いを含むガイドライン策定のための研究
- 視覚器系補装具
 - ・ アセスメントシート・フォローアップシートの試作・検証
 - ・ 視覚障害関連補装具支給に関するガイドツールの作成
- 聴覚器系補装具
 - ・ 補聴器の修理に要する費用の額の算定に関する基準見直しに係る実態調査
 - ・ 支給基準案の作成
- 重度障害者用意思伝達装置
 - ・ 基準価格等適正化のための実態調査等(呼び鈴分岐装置のニーズ調査を含む)

2

【厚生労働科学研究(公募)】
将来的な社会参加の実現に向けた補装具費支給の
ための研究
(3年計画の2年目)

研究代表者 中村 隆
国立障害者リハビリテーションセンター研究所
義肢装具士長

- 社会参加の実現に向けた補装具費支給ガイドラインの作成
- 高機能な補装具の支給による費用対効果を明らかにする。
- 補装具の使用訓練のための高機能部品は借受制度の利用を前提に、問題点を抽出する。

3

令和7年度障害者総合福祉推進事業 (単年度)

- 補装具費の原材料等価格及び従業員給与に関する実態調査